

## 干支の山

JJ1SXA 池

朝日新聞の投稿記事、「干支の山を夫婦で登山」というのを読みました、12年かけて達成されたようですが、新年のJARL主催のQSOパーティーでステッカーを集めるのと同じで、継続は力なりです。

それにしても、干支の山とは？でしたが、ちゃんとあるんですね、「子の権現」にはじまり、「牛首山」「虎毛山」「屹兎屋山」「飛龍山…大洞山の別名」「蛇骨岳」「来馬岳」「羊蹄山」「庚申山」「酉谷山」「犬倉山」「猪狩山」で、見事12支が揃いました。

皆さん、このうち幾つの山を知っていましたか？もちろん「子の権現」は大半の方がご存知で、現地に行かれた方も多いことでしょう。

恥ずかしながら、私は「子の権現」と「羊蹄山」位しか知りませんでした、「子の権現」には行ったことがありますし、「羊蹄山」は、北海道旅行でその美しい容姿を眺める事ができました。

所在地はとなると、「子の権現」は埼玉県にあり、「羊蹄山」は北海道ですが、これはほとんど誰でも知っていること、では、「虎毛山」は？「屹兎屋山」は？となるとどうでしょうか、「虎毛山」は秋田県、「屹兎屋山」は福島県です。

続いて「飛龍山」ですが、これは「大洞山」の別名で山梨県です、かの有名な「雲取山」に続いています、標高は2,077mもあるのですね。

「蛇骨岳」は長野県、「来馬岳」は北海道で、「庚申山」は栃木県、「酉谷山」は東京都にあるのに知らなかったです。

後は、「犬倉山」は岩手県で、「猪狩山」は埼玉県ですが、以上の12の山の内、無線に最適なロケーションの山は幾つあるのでしょうか？

最近は中高年の山歩きが流行しています、そして結構遭難のニュースも聞きます、山歩きであって登山などといえるものには無いようですが、例え近郊の山でも山は山、準備はしっかりしなければいけないのに、素人の悲しさがあるようです。

これもテレビで見たのですが、中高年の山歩きについて、専門家の講習があったのですが、地図・磁石・雨具・懐中電灯(両手が使えるヘッドライト推奨)・防寒シート・長いロープ(グループで1本)・若干の予備食料等が最低限の必需品のようですが、見ている面白かったのは、いきなり「落石」と教官の声に上を見上げるだけの受講者に、石に見立てた紙で作った塊を頭にぶつけられ、「一卷の終わり」と宣言されていました、落石に気が付いたら、その場で頭を防護して伏せるのが一番とのことでした。

また、山の天候は急変するということで、いきなり「激しい降雨」の声に、ザックの下の方にしまっている雨具を取り出すのに、上の品物(衣類・食料品等)を地面に並べて取り出す受講者に、「濡れる濡れる」と大声で叫ばれ苦笑する受講者、ともあれ物事の準備は全て用意周到でなければいけないことを痛感させられました。